



「雪山の夢」

雪山に眠っているクマのことを想像することがある。実際に見たわけでもないし、動物学者からもその姿について話してもらったこともないから、勝手に大きな木の幹にある穴蔵に悠々と横たわっている様子をこころに浮かべて「あゝ」なんて思う。冬はクマが眠っている間、ときに激しく、また緩やかな静寂の時間が通り過ぎていく。

ぼくは深い雪山の宿に旅するようになったのだが、どこかに、あのクマのように数日を過ごしたいという気持があった。ただひたすら眠りたいという願いがあからだけけれど、それは深い雪山がそう感じさせるのであって、都会で、ただ眠りたいわけではない。都市的な文明から離れたいと感じているらしい。そして、ぼくに雪がもたらすものは幻想である。ファンタジーである。生とか死とかを超えた永遠の物語に身を置きたいのだ。永遠は安らぎでなくてはいけない。

ひとときにも永遠はひそんでいる。

写真・文「あさいしんべい」 写真家。1997年愛知県瀬戸市生まれ。早稲田大学政治経済学部中途。著書に「風の中の鳥々々the Windy Island」「田里の仏像」など。TVサンデーモーニング(TBS)にも出演。環境問題にも積極的に取り組んでいる。



白十字 創業116年

これからも、一緒に。

神田川沿いに建つ白十字本社とその近くを走る都電荒川線。
ともに、1世紀を超えて、さまざまな時代の中を走り続けてきました。
白十字の使命は、医療現場からご家庭まで、
高品質で安全なトータルヘルスケア製品を絶やすことなく提供すること。
これからも、業界のパイオニアとして常に進化を続けます。

ひとりでは成し遂げられないことも、
一緒ならば大きな実りになると信じて。



白十字本社前を走る花電車

都電荒川線 開業100年

今年も116年目の実が開きます。

 **白十字株式会社**